

2015年度 成美市民大学 第1期講座

成美大学では市民の皆様を対象とした公開講座を開催いたします。第1期講座は、「フレッシュズ教員が考える地域活性化」をテーマとして新しく赴任した教員の講座を6月、7月に開講します。市民の皆様の生涯学習の推進とともに、なお一層大学を身近に感じていただくことをめざしています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：6月30日(火) 18～20時

◆会場：成美大学 4号館

参加無料

1 単元

「北近畿における中国人観光客向けの観光資源開発」

講師：張 明軍 成美大学 助教

過疎化が進む中で、外国人市民を増やすことにより、北近畿にある豊かな資源を再開発、再利用することができます。より質の高い生活環境を求める中国人が日本で「観光、爆買い等」をする現状からみて、中国人は日本の各地域の豊かな自然や、ライフスタイルに注目しています。北近畿も中国人目線の観光資源開発を取り入れてはどうでしょうか。

【講師プロフィール】

成美大学卒業。立命館経営大学院にて経営修士の学位を取得。平成26年12月より成美大学経営情報学部助教。北近畿の魅力や人々の良さを母国中国の人々に紹介したいと思い、北近畿地域における中国人観光向けの観光資源開発を研究中。



2 単元

「財政の視点から“まち”を眺めるということ」

講師：三好 ゆう 成美大学 准教授

【講師プロフィール】

経済学博士ならびに修士、経営学修士の学位を取得。平成27年4月より成美大学経営情報学部准教授。研究者という立場から「地域を支える税金」と接する道を選び、原子力発電所保有自治体の経済財政構造を分析。震災復興財政のあり方を問い直そうと被災地の復興を応援しながら、財政支援措置の問題を研究中。



自治体の財政はとても個性的です。なぜなら財政は政策手段であり、地域の潜在的な行財政需要と負担能力を反映しているからです。したがって、財政の視点から“まち”を眺めるということは、市民の立場と行政の立場との統合で“まち”について考えるということになります。本講では、その方法の「イロハ」についてお話したいと思います。

- 申込方法：氏名・連絡先を明記の上、前日までに電話、Fax、Mailにてお申込みください。
- その他：次回講座の詳しい内容や講師の紹介は本学HP（<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp>）等に掲載します。

【お申込み・お問い合わせ先】成美大学 地域活性化センター Mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp Fax: 0773-24-7170
Tel: 0773-24-7100（受付時間は平日9～17時）